



## 広報委員行政視察



石原広報編集委員長のあいさつ

6月27日山梨県昭和町へ広報特別委員会行政視察を行いました。昭和町議会は、町村議会広報の表彰を何度も受賞しており、年間100の自治体議会より行政視察があり対応が忙しいとのことでした。

議会広報編集マニュアルを作成し、「議会広報」を住民にいかに手に取ってもらえるか、読んでもらえるかということを常に念頭に置き、「読みやすく、分かりやすく、親しまれる」議会広報を目指しています。特に、議員活動がわかるような記事や写真を多くしたり、住民参加の特集記事など参考になりました。

## 民生文教常任委員会視察



6月21日旧宇都宮工業高校跡地に本年4月1日開校した栃木県特別支援学校宇都宮青葉高等学園を視察しました。本校は、軽度の知的障害がある生徒の職業的な自立支援を強化するため、職業学科を設置した高等部単独の高等特別支援学校です。

現在、生徒は79人おり、卒業後は地元の職場で働けるよう「流通」、「環境」、「食品」、「福祉」などの職業実習をしています。全員がお弁当を自分で作り、雨の日でも学校から自転車で市内の会社へ職業訓練に通うなど自立を目指した指導が行き届いています。

## 議会広報クリニック



7月11日東京の全国町村議員会館において、北海道、東北、関東の町村議会広報クリニックが開催され、当町の議会だよりも「町村議会広報全国コンクール」に参加し編集技術の審査を受けました。審査においては、編集体制、企画・構成、編集・デザイン、言語・文章や表紙写真など総合力が問われます。常連で受賞する自治体は、編集体制に力を入れ紙面に努力が見られます。

また上位を狙うには、議会広報紙が、住民の立場に立って編集されているかなど第一義として編集しなければなりません。今後は、住民へ議会活動を分かりやすく伝えることを念頭に置きながら編集に取り組んでいきます。

## 広報委員研修



6月28日埼玉県鴻巣市にある会議録センターにおいて、議会だより編集の研修を行いました。

ここには、自治体の議会だより編集をサポートするスタッフがおり、出向いて編集に携わっています。

今回は、だより編集の基礎編を学び、紙面構成の基本や読み手を意識した伝わる文章や見出しの役割及び住民参加の特集記事など他の自治体の議会だよりを参考に説明してくれました。学ぶことが多く、当町議会だよりの一般質問の見出しを講師が修正してくれ、読者が読みたくなる説明の見出しに変わり委員は皆驚きました。

今後は、研修の成果を発揮して編集に取り組みます。